

黒埼町老人クラブ連合会の紹介

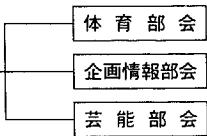
黒埼町老人クラブ連合会（以下町老連という）は、昭和五十一年に会を発足し、登録会員は二、一八〇名余りです。構成は、二十三単位クラブからなっています。町老連の役員は、会長一名・婦人部長一名で、体育部会・企画情報部会・芸能部会の三部にわかれて、活動をおこなっています。健康づくり、奉仕活動、友愛活動の三大運動をはじめ、地域活動の展開、研修会、ボランティア活動の充実をめざして左の事業を行っております。

- 一、町老連ゲートボール大会（春秋二回）
- 二、中の口沿線ゲートボール大会（町老連大会より上位チーム出場、年一回）
- 三、西警察交通安全ゲートボール大会（町老連ゲートボール大会は、近年町交通安全対策協議会と共催で行っています）
- 四、高齢者自転車乗大会
- 五、郡老人クラブスポーツ大会
- 六、講演会・研修会の開催：県老人クラブ連合会常務理事の木村幸雄さんの「新たな老人クラブづくり」と題しての講演会を開催。三月二日の研修会は、午前中映画鑑賞と西警察署交通課長の講話、午後から元ガンセンター副院長蒲原先生の講演会を開催。県福祉大会郡福祉大会での研修、講演会、県リーダー研修会郡リーダー研修会等々。
- 七、たすけあい運動の一環として一円玉五円玉募金
- 八、雑巾作りをして、中学校、各小学校、保育所、役場等の公共の施設に寄贈している。
- 九、アルミ缶の回収作業
- 十、黒埼荘の草とり
- 十一、町老連芸能祭

町老連組織図

黒埼町老人クラブ連合会

町老連は、33の各老人クラブで組織され、各老人クラブの代表で理事会が組織されています。役員体制は会長1名、副会長2名、婦人部長1名で構成。



33の各単位老人クラブ

各老人クラブの役員構成は、まちまちですが、会長、副会長、会計などで構成されている。活動内容としては、健康づくり、奉仕活動、娯楽などが、老人ホーム訪問など、各老人クラブ独自の活動をしている。

婦人部のあり方

婦人部長

泉井ヨ子

私は二年前から中学通りの婦人部長をしてきましたが、老人会の芸能祭になると出演するのは殆ど女性ばかりなのに、役員席は男性ばかりで女性は一人もいられないのに不審を抱いて参りました。又婦人部の催した講演会に参加したのは全く女性ばかりで男性はいられない。どうしてこんなに良い講演会を男性の方と一緒に聞けないのだろうか。一緒に聞いたら男性も女性も楽しくて為になるのだろうかと思っております。平成三年に町出身の元新潟女子短大教授浅妻康二先生を招き講演会がありました。先生は「町を離れていると町のことがとても気にかかるもので、特に町の男性に話したいことが沢山あるのだが、今日は男性が居ないのはとても残念だ」と云

われ昔より二十年も長生きする様になったセカンドライフ（第二の人生）をどう生きるかというお話を聞かせて頂きました。それらの事から私は町の老人会と婦人部のあり方にこれでいいのだろうかという疑問を持って参りました。

を持つていたのでないかと思われます。いろいろな勉強、講習会、サークルなど断然女性が多いのを見てもうなすけまです。その様な現状ですから町の老人会には婦人も役員に入れ、男女一緒に計画を立て、運営に参加するという望ましい老人会にして欲しいと願っております。

私に住む中学通りの老人会には御主人に死別された女性が多く男性との割合は三対二以上を占めており、役員も女性が多く活動しております。町老連もその様な割合だと思っております。私が思いますに女性は肩ひじ張る様な前歴も持つておらず、すんなりと新しい環境に入って行ける順応性を持つて居る様です。その上に好奇心と向学心があり前向きに生きて居る人が多く、時代の変化にも柔軟に対応する能力

も受け入れて頂けない。前の会長さんは八十歳を越して、どうしてもやれないと言われ。えいっ、ままよ二度笠、私ことき者に、それほど望まれるのであれば、世の為人の為、しいは自分の勉強の

七寿会

栗林重則

早春の候、皆様にはお変わりございませんでしょうか。平成二年三月、私共の七寿会老人クラブの総会で私が会長に選ばれた。さあ、大変だ。無知無学の私に会長など、務まるはずがない。何回断つて

も受けて頂けない。前の会長さんは八十歳を越して、どうしてもやれないと言われ。えいっ、ままよ二度笠、私ことき者に、それほど望まれるのであれば、世の為人の為、しいは自分の勉強の

八区寿会

高橋平太郎

大野八区寿会の高橋平太郎です。本日本題の友愛訪問の前に八区寿会の内容を少し述べさせて頂きます。

度）かわらず何よりも真心にて本人の身になって相談にのってやる事が、非常に良かったとの事について、私は感銘を受けた次第です。

昭和四三年に創立致し会則を作る。本会は会員相互の親睦を図り老後を楽しみ相協力して、社会的に役立つ事を以て目的とする。

私達寿会は平成元年九月十五日、役員四名にて鳥屋野中央病院に鈴木タイノさん（八七歳）に友愛訪問いたし、同室の方々共誠心に懇談いたし又は相談にのつてあげたり、励ました次第です。なお、その時石原イシさん（八一歳）も鳥屋野中央病院新湯院に入院しておられ、石原さんにも友愛訪問しました。石原さんの場合は、鈴木さんと違つて車椅子の関係上、多数の人々との交際があり中々にぎやかで私達も仲間に入って時間のたつのも忘れがらでした。

平成二年には燕市福寿園に立山俊雄さんを友愛訪問いたしました。片足が不自由で健康に非常に宣しいのですが私達が行くと立山さん、そして職員の方々も非常に喜んで下さいます。又、福寿園の場合には精神薄弱関係の方も入られる関係上、お話が長くなつてしまします。でも、皆さんが私達の来るのを待つておられる事を思う時、一年に一回の面会を年に一回位行つたら良

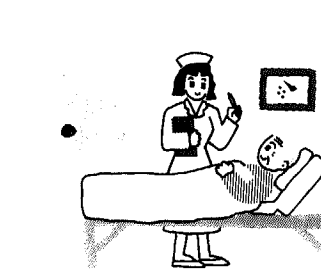
いのではないかと色々社会の為になる様努力しなければいけないのではないかと役員の方々とも相談致している次第です。

平成三年九月十六日、鳥屋野中央病院に友愛訪問致し、鈴木タイノさんに会う。力強く元氣になつて下さる様お話し上げて来る。会長以下三名（友愛訪問者）

三軒から四軒を受け持つて頂いた。役員一丸になつて新会員募集に廻り平成五年現在、会員は七二名になつてきた。身障の私が毎日の様に、息を切らせて、ハアハアと言つて会員の家に連絡に歩いている姿を見て、「あの馬鹿が、雨の中、風の中歩き廻っているな、寒かろうに」と思っている人もいる。又、良く見て下さる人もいる。人間、顔の形が違えば老い方も違う。役員の皆様も良く協力して下さい。とにかく七寿会は皆素晴らしい人々だ。七寿会は日本一の老人会であると思つて居る。ずつと一同仲良く楽しい老人会である様に願つて居る。

平成二年四月私の家に一人暮らしの老人会の方が来られ「私共はいつ体の具合が悪くなつて倒れても人を呼ぶことも出来ず、そのまま死んでも人様の目にもとまらず、一月も二月もそのままと思うと夜も眠れません。良い考えはないでしょうか」と相談をうけました。

局長浅妻さんや、宗村さんにお見せ致しました。これは面白いですが、町老連の番付も作つて頂けませんか」と言われ、町老連の番付ともなれば、私一人では出来ません。事務局長さんから名簿を書いて頂ければ製作致しますよとの話になり、早速事務局長さんが名簿を書いて下さる。早速製作して事務局に届けると、出来上がった番付をよく見たら、既に亡くなられた方が載つている事に。事務局で役場に行つて良く調べて頂き、私に届けて頂く。早速製作して出来上がった番付を事務局に届けると、それを宗村さんが何千枚も印刷して、昨年九月十四日の敬老会で皆様方に配付された。社会福祉協議会の事務局長浅妻靖雄さん、事務の宗村さんのご苦勞にたいして深くお礼を申し上げます。以上



今の時代に私の家も祖父祖母と息子と嫁と、孫一人、毎日笑いながら暮らすことの出来る喜び。金もなければ名譽もないが何より幸福者であると喜んで居る。

平成四年四月、七寿会会員にお笑いをと思ひまして、七寿会七十名の長寿者番付を製作して全員に配付しましたところ、私の思つていた以上に会員の皆様から喜んで頂き、気を良くして私が、その番付を、三枚持つて町老連事務